



## 入院時嚥下障害スクリーニングの拡大 —ERでのスクリーニング開始について—

摂食・嚥下障害看護認定看護師  
/老人看護専門看護師

入院時嚥下障害スクリーニングを救命救急病棟で開始しました。入院時のスクリーニング開始の契機となったのは、2019年にあった入院翌日の窒息事例でした。同年9月より質問紙を使用した入院時摂食嚥下スクリーニングを開始し、2021年に一般病棟でのスクリーニング拡大を終えました。

今回ERでの義歯の誤飲事例があり、ERでの入院時嚥下障害スクリーニングを開始することにしました。ERでのスクリーニングは、患者背景により一般病棟の方法では効果的なスクリーニングとならないため、病棟看護スタッフによるベッドサイドでの1次スクリーニングを実施してもらっています。その結果をもとに2次スクリーニングをNSTメンバーが実施し、多職種への連絡調整や嚥下訓練の介入を実践しています。入院時のスクリーニング以降は各病棟での定期的な評価が重要です。

## 派遣講座 経過報告

認定看護師委員会では、2021年度より認定看護師の知識・技術を知り、ベッドサイドケアの質向上につなげられることを目的に派遣講座を実施しています。

2022年度派遣講座は総計56件の希望がありました。現在半数程度の講座を終えています。コロナ禍で止む無く延期となるケースもありましたが、3月中にはすべての派遣講座を終える予定です。途中経過のアンケートでは9割以上のスタッフが派遣講座を「満足した」や「やや満足した」と返答されています。

各病棟のケアの悩みや疑問を解決すべく、派遣講座希望時の質問への返答を組み入れた講座となるよう、各分野で取り組んでおります。これから開始する部署もありますが、ベッドサイドケアにタイムリーに役立つ知識や技術を提供したいと考えております。

各部署の現場で働いている看護師の皆様が日々のケアの悩みや疑問を発信して頂いてこそ派遣講座の意義や認定看護師の役割が発揮できます。開催時には、是非私たちに気兼ねなく声をかけていただけると嬉しいです。

## 尿道留置カテーテルの管理について



感染管理認定看護師

尿道留置カテーテルから脇漏れを確認した場合に、径の大きなカテーテルに交換する場面を認めることがあります。脇漏れの原因は、①屈曲、閉塞によるドレナージ不良、②固定の位置不良、③カフの不良等によりカテーテルが抜けている、④尿路感染を含む刺激症状を感じていることがあります。

まずは原因となることはないか観察し、対処することが大切です。尿量が多くドレナージ不足の場合も一過性に尿量が増えた際の脇漏れか、継続的に尿量が多いのか観察します。径の大きなカテーテルは尿道粘膜損傷のリスクや刺激症状が増加するリスクもあります。

また、デバイス関連の感染防止の最も有効な対策は早期抜去です。使用中のデバイスが真に必要なか常に検討する必要があります。

